

除雪グレーダ（4.0m級）計1台 仕様書

〔付加仕様〕

運行記録計、チェーン、油圧ブレードチップ、床マット、ブレードスリップクラ  
ッチ、熱線ガラス、スノータイヤ、側方カメラ・モニタ

納入場所 雄勝除雪センター（湯沢市寺沢字中川原1番地19）

令和7年度

湯 沢 市

# 仕 様 書

## 概 要

この仕様書は、除雪グレーダ（4.0 m級）に適用するもので、納入する車両は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入する車両は運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。

ここに明記されていない事項については湯沢市（以下「発注者」という）と物品供給人（以下「受注者」という）が協議のうえ決定するものとする。

## 1 性 能 （JCMAS T005 性能試験）

- |   |            |
|---|------------|
| （1）除雪幅（推進角60度において）  | 3.4 m 以上   |
| （2）最大除雪高さ<br>（新雪 $\rho=0.08\text{t/m}^3$ 、除雪速度15km/hにおいて） | 0.15 m 以上  |
| （3）ブレード線圧   | 20kN/m 以上  |
| （4）走行速度（前進）   | 45 km/h 以上 |
| （5）運転室内騒音レベル  |            |

「騒音障害防止のためのガイドライン（令和5年4月改訂）」（厚生労働省令和5年4月20日、基発0420第2号）第I管理区分に準ずる。（測定方法はJCMAS H011の機械定置時による）

## 2 主要諸元

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| （1）全 長           | 12,000 mm 以下                |
| （2）全 幅（車両単体）     | 2,700 mm 以下                 |
| （3）全 高（黄色灯火上端まで） | 3,800 mm 以下                 |
| （4）最低地上高         | 240 mm 以上                   |
| （5）車両総質量         | 18,000 kg 以上 ～ 20,000 kg 以下 |

なお、「7 付属装置及び付属品 7-2 車両総質量に含まないもの」以外は、本車両総質量に含むものとする。

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| （6）最小回転半径（最外側車輪中心） | 8 m 以下 |
|--------------------|--------|

### 3 車 体

#### (1) 機 関

形 式

水冷、ディーゼル機関

定 格 出 力

最高速度段において（可変）

160 kW 以上

#### (2) 車 軸

前 車 軸

2 輪、油圧リーニング機構

（リーニング角度16度以上）

後 車 軸

4 輪、タンデム機構

#### (3) フレーム

形 式

油圧屈折式

#### (4) タイヤ

形 式

スノータイヤ

#### (5) かじ取装置

形 式

全油圧式または電気油圧式

#### (6) 運転室

構 造

全鋼製密閉形

窓

（前上、後）熱線ガラス（2枚）

（前上、後）冬用ワイパーブレード付

### 4 除雪装置

#### (1) 構 成

ブレード、サークル、ドロバ

#### (2) 作業動力装置

油圧式、操作弁式（7系統以上）

#### (3) 能 力

サークル回転角度

左右各 130 度 以上

ブレード昇降範囲

地下 250 mm～地上 250 mm 以上

ブレード横送り長さ

左 500 mm 以上

油圧ブレードチップ

1 式

安全装置

除雪装置に設計を超える負荷が生じた場合に、機械を保護する安全装置を備えるものとする。

ブレードスリップクラッチ

1 式

切刃形式

ストレート形平形刃先（JIS D6101）又は準じる特殊切刃（側刃付）

### 5 計器類

#### (1) 燃料計

1 式

#### (2) アワーメータ

1 式

#### (3) 水温計

1 式

#### (4) 充電警告灯

1 式

#### (5) 機関油圧計又は機関油圧警告灯

1 式

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| (6) 運行記録計 (90 km/h、機関回転数記録、7日計) | 1 式 |
| (7) その他標準計器類                    |     |

## 6 照明装置類

- |                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| (1) 前部霧灯又は前部作業灯 | 2 灯                            |
| (2) 黄色灯火 (散光式)  | 前 全幅 500mm以上<br>後 全幅 1,100mm以上 |
|                 | 1 式<br>1 式                     |
| (3) 前方作業灯       | 2 灯以上                          |
| (4) 後方作業灯       | 1 灯以上                          |
| (5) その他標準照明装置類  | 1 式                            |

## 7 付属装置及び付属品

### 7-1 車両総質量に含むもの

- |                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| (1) バックブザー (後方 1 mにおいて、音圧80dB(A)以上) | 1 式 |
| (2) ウインドウォッシャー前・後 (電動式)             | 1 式 |
| (3) 標識板 (300×570mm以上、車体後部取付)        | 1 式 |
| (4) 後方カメラ・モニタ (後方カメラ 1 台)           | 1 式 |
| (5) エアコン                            | 1 式 |
| (6) 側方カメラ・モニタ (右側・左側カメラ 各 1 台)      | 1 式 |
| (7) 床マット                            | 1 式 |
| (8) その他標準装備品                        | 1 式 |

### 7-2 車両総質量に含まないもの

- |              |     |
|--------------|-----|
| (1) 標準付属工具   | 1 式 |
| (2) 取扱説明書    | 1 部 |
| (3) 部品表      | 1 部 |
| (4) 履歴簿      | 1 部 |
| (5) チェーン     | 1 式 |
| (6) その他標準付属品 | 1 式 |

## 8 塗 装

国土交通省建設機械塗装基準による。

## 9 検 査

完了検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであることを、その内訳が判る資料により検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

## 10 保 証

納入後 1 箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が 1 箇年以上にわたる場合には、それを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

## 11 その他の事項

### 11-1 製造期日等の指定

納入する車両は新品でなければならない。

### 11-2 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

イ) 黄色灯火の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号（以降の改正分を含む））」に準じるものとする。

ロ) 黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

### 11-3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

### 11-4 緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については受注者が行なうものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。ただし、これにより難しい場合は発注者の指示を受けるものとする。

### 11-5 物品の納入等について

イ) 受注者は、納入する車両を発注者の指定する場所に納車しなければならない。

ロ) 入札金額には、輸送費を含むものとする。

ハ) 受注者は、輸送費以外の納車に要する一切の費用を負担する。